2014年（日比谷野音）、2015年（東京芸術劇場）、2016年（文京シビックセンター）、に続く4回目の「6.26集会」

病棟転換型居住系施設について考える会

これでいいのか精神医療！！6.26集会

精神保健福祉法改悪案の廃案を諦めない!!

これは精神障害がある人々への政府からのヘイトクライムです

我が国の精神医療の何が問題なのか？

どこをどう正せばいいのか？

国の「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」では、

精神科病院に1年以上入院する人の6割が「重度かつ慢性」としました。

厚生労働省は、「重度かつ慢性」を

「地域で生活することが非常に困難な状態にあり、長期に入院治療が必要な患者」と定義しています。

これは、少なくとも11万ものベッドが精神科病院に必要ということを意味します。

しかし、その「重度かつ慢性」基準の策定は病院を経営する人たちも入って「研究」され出された結果です。

そうです。精神科の病床を必要とするのは病院なのです。

10年で2倍以上にも増えてしまった身体拘束。

精神病院は、未だに、人を苦しめ、閉じ込める場所になってしまっています。

精神医療は誰のためにあるのか？

それはそこを利用する人たちのものであり、病院を経営する人たちのものではないはずです。

このような誤った精神医療を正していかねばなりません。

これでいいのか精神医療！！

さあ、一緒に考えましょう！

●基調講演

①「“重度かつ慢性”問題から見える精神医療の“利権構造”」長谷川利夫さん（杏林大学教授、考える会呼びかけ人代表）

②「増加し続ける強制入院～隔離・身体拘束の背景」有我譲慶さん（大阪精神医療人権センター）

③「精神医療の危機～その背景と新たな道」氏家憲章さん（社会福祉法人うるおいの里）

●報告

関口明彦さん（全国「精神病」者集団）

山本眞理さん（ＷＮＵＳＰ世界精神医療ユーザーサバイバーネットワーク理事）

加藤真規子さん（こらーるたいとう）

◎後半は、フロアからお話していただき意見交換の場にします。

●進行

竹沢幸一さん（八王子精神障害者ピアサポートセンター）

日時　　2017年6月26日(月)13:00～15:30（受付：12:30より）

会場　　参議院議員会館・講堂（東京都千代田区永田町2-1-1）

★当日参加可能（当日は、参議院議員会館１Fロビーにおいて、12:30より13:00まで、通行証をお渡しします）

〔連絡先〕　長谷川利夫（杏林大学教授）　E-mail／hasegawat@ks.kyorin-u.ac.jp　　携帯電話／090-4616-5521